

出題のねらい

【I】は文法力と語彙力を問う問題です。高校までに学習した基礎的な文法事項が出題されています。【II】は長文補充問題です。文脈の流れを把握し、空所の前後の語句の品詞をヒントに正解を導き出します。【III】は会話問題です。会話のテーマを理解し、やりとりが自然な流れで進むような文を選択肢の中から選び出して空所を埋めていきます。【IV】は長文読解問題です。本年度はサッカーのワールドカップの試合場での日本人ファンの行いを取り上げた記事を題材にしています。文法の知識が問われる並べ替え問題と全体の内容理解に関する問題から構成されています。

【I】
【解答】 (30点)

1	③	2	④	3	③	4	③	5	③
6	①	7	②	8	④	9	③	10	②
11	①	12	②	13	②	14	③	15	①

(各2点×15)

【解説】

- difficulty に対応する適切な前置詞を選ぶ問題です。
- change trains で「電車を乗り換える」の意味になります。
- 現在完了の継続用法です。ここでは been の後に形容詞の dead が入ります。
- 「～年の夏」と限定する場合には定冠詞 the をつけて the summer とします。
- hid の原型 hide (他動詞) に「隠れる」という自動詞的な意味を持たせるために使う再帰代名詞は主語の I に合わせて myself を選びます。
- 「～をどう呼びますか」と尋ねる場合、日本語につられて疑問詞 how を選びがちですが、正解は what です。
- 方法、手段を表す前置詞 by を選ぶ問題です。
- 「二番目に大きい」と言う場合には最上級を使い、the と largest の間に second を入れます。
- at the latest: 「遅くても」
- hardly: 「ほとんど～ない」
- 知覚動詞 see +目的語+動詞で「～が～しているのを見る」の意味にする場合、目的語の後の動詞は現在分詞にします。
- must: 「～に違いない」
- cannot help ~ing: 「～せざるをえない」
- 仮定法の典型的な文です。現在の事実と反対のことを言う場合、過去形を用います。

(15) How about ~ing: 「～してはどうでしょう」となにかを提案する文。

【II】
【解答】 (20点)

16	⑤	17	①	18	⑧	19	⑩	20	②
21	④	22	⑦	23	⑥	24	③	25	⑨

(各2点×10)

【解説】

- take on: 「～を始める」
- 不定詞 to balance の意味上の主語 students につける前置詞は for。
- 時刻の前につける前置詞 after を選んで after 6p.m.: 「午後6時の後に」
- because of: 「～の理由で」
- 複文の従属節に使う接続詞なので、文脈から判断して if が正解。
- 直前に不定詞 to save (貯金する) が使われており、文脈から判断して、save に呼応する動詞 use を選択する。
- 8行目の Arguments for (～に賛成の議論) に対して Arguments against (～に反対の議論)
- in time for: 「～に間に合うように」
- of course: 「もちろん」
- scholarship を修飾する不定詞句 (形容詞的用法) を作るための動詞として assist を選択して「支援する奨学金」の意味。

【III】
【解答】 (18点)

26	③	27	⑦	28	⑧
29	①	30	④	31	⑥

(各3点×6)

【解説】

- 大学の国際交流室が海外語学研修プログラムを宣伝しているという Naomi の言葉に関心を示す Kumi のセリフに続く、「どのような国の [プログラム] を提供しているのですか?」という選択肢③が正解。次の Naomi のセリフの中で言及されている「ニュージーランド、アメリカ、カナダ、イギリス」などの国名がヒントです。
- 次の Kumi のセリフ “Yes, I am” を導く問いとして「参加しようと思っているの?」という選択肢⑦が正解。
- 次の Kumi のセリフ「それはいい考えね。」を導くセリフとして選択肢⑧: 「もし海外で学びたいなら、

一緒に行けるわ。」が正解。

- (29) 直前の Kumi のセリフ「どの国に行こうと思っているの?」の問いに対する返答として選択肢①:「私は歴史が好きなのでイギリスに行きたい。」が正解。
- (30) 直前のセリフで Kumi は「イギリスは雨が沢山降ると聞いている」とイギリスの気候に難色を示しており、次の Naomi のセリフの中の国際交流室が提供している国のうちで「[研修に行くときの]季節が夏である国はカナダしかない」という言葉から推察して選択肢④:「私は暖かい国に行きたい」が正解。
- (31) 次の Kumi のセリフ「もしカナダが同じ気温ならば…」を導くセリフとして選択肢⑥:「カナダはイギリスと同じ気温である」が正解。

【IV】

【大意】

熱狂したワールドカップの試合の後では、興奮さめやらぬスタンドは通常食べ残しや紙コップ、包み紙が散乱する。火曜日の夜に日本人のファンは確かに羽目を外しても仕方なかった。日本は初戦でコロンビアを2対1で破り、南米側に対して一歩有利に立った。

しかし、日本チームが競技場でコロンビアを「一掃」した後で、日本人ファンは自分たちなりの「掃除」をした。つまりスタジアムの座席や通路を注意深く掃除したのだ。予め持ってきた大きなゴミ袋を持ってファンたちはゴミを拾いながら通路を歩き、もとの状態まできれいにした。しかもこれが初めてではなかった。「サムライ・ブルー」のサポーターたちは決して良いマナーを崩したことがなかった。

「これはサッカーだけの文化というよりは、日本の文化全体のことなのだ」と日本在住のサッカー取材記者スコット・マッキンタイアーはBBCに語った。彼はチームを取材するためにロシアに滞在しており、サムライ・ブルーのファンの一風変わった振る舞いに全然驚いていなかった。

「サッカーは文化を映す鏡だと言われているのをよく聞くでしょう。日本社会で重要なことは、あらゆることが完璧に清潔であるということで、それはスポーツの世界にもあてはまり、サッカーも例外ではないのです。」セネガルのファンたちも今年のワールドカップで同じことをしていたことが目撃されている。しかし清掃を最初に行ったのは日本人であり、今やそれで有名になっているのである。日本で開催される試合に参加した多くの外国人が驚くことがある。

「彼らがペットボトルか食べ物が入っていた箱を地面に捨てると、たいいてい日本人に肩を叩かれ、片づけるなり持ち帰るかして、そこに放置してはならないと諭されるのです。」とマッキンタイアーは述べる。これは幼少の頃よ

り日本人に叩き込まれた習慣なのである。

「サッカーの試合後に清掃をすることは学校で教えられる基本的な作業の延長であり、日本の学校では子供たちが自分たちの使う教室や廊下を掃除するのです」と大阪大学の社会学者スコット・ノース教授は説明する。「子供の頃から絶えず言い聞かされるので、このようなふるまいは国民の大半の習慣になっているのです。」試合後に進んで清掃をすることがメディアで常に取り上げられることをファンたちはどう思っているだろうか。どちらかといえば、誇らしげである。

「清掃やリサイクルの必要性を強く意識していることに加えて、ワールドカップのようなイベント時に清掃をすることは日本人ファンが自分たちのライフスタイルに対するプライドを誇示し、その感覚を皆で共有する場なのです」とノース教授は説明する。

「地球の環境に責任感をもつ必要があると述べるのにワールドカップ以上に適した場があるでしょうか」と彼は続ける。情熱が多い、少ないという問題ではないとマッキンタイアーは主張する。情熱は行動の基本的ルールを無視することにつながるのではないというだけのことであり、ましてや暴力につながるのではない。「ありきたりで退屈な言葉に思われるのは承知していますが、それでもこれが尊敬と礼儀の上に築きあげられた国の真実なのです」と彼は笑う。「そしてこのことの延長上にサッカーにおける立派な行いがあるのです。」「ワールドカップが多くの国と人々を結びつけ、このような類いのことをお互いに学び合うきっかけとなることは素晴らしいことです。」

【解答】 (32点)

32	⑤	33	④	(4点)				
34	①	35	②	(4点)				
36	②	37	④	(4点)				
38	④	39	⑤	40	⑥	41	⑧	(順不同OK) (各5点×4)

【解説】

問1

- (32) (33) neat as they had found が正解。同等比較 as ~ as の間に形容詞 neat が入り、後ろの as の後に節(主語+動詞)が続く。
- (34) (35) case in all sporting events が正解。the に名詞 case が続き、その後続く also in football (サッカーにおいても) がヒント。
- (36) (37) share it with the rest が正解。主語 Japanese fans を受ける動詞として share が先頭にくる。share A with B 「AをBと共有する」

問2

(38) (39) (40) (41)

- ① 第二段落で一行目から二行目で日本とコロンビアの試合後に日本のファンがスタジアムを清掃したと書かれているので「日本とコロンビアの試合後にいつもより多くのゴミがスタンドに残されていた」は不正解。
- ② 「日本のサッカーチームがワールドカップで南米のチームに勝とうとしている」ことは言及されていないので不正解。
- ③ 第二段落二行目から三行目で日本のファンはゴミ袋を持って清掃したと書かれているので、「ゴミを拾うのに大きなゴミ箱を使った」は不正解。
- ④ 第四段落一行目でマッキンタイアーが「サッカーは文化を映す鏡である」と言及しているので、「サッカーの試合後にスタンドを清掃することは日本の文化を反映している」は正解。
- ⑤ 第四段落三行目の「セネガルのファンが日本のファンと同じことをした」と一致するので正解。
- ⑥ 第六段落一行目から二行目で、日本では子供は学校で掃除することを教わるのだと述べているノース教授の言葉が引用されているので正解。
- ⑦ 第一段落冒頭で、通常ワールドカップの試合後にはゴミが散らかっていると述べられているので「世界中のサッカーファンは試合後に常にゴミを片付ける」は不正解。
- ⑧ 第七段落で述べられている内容と一致するので正解。
- ⑨ 「日本人は熱狂のあまり行動の基本的ルールを守ることができない」とは本文中に書かれていないので不正解。
- ⑩ 「尊敬と礼儀の上に築かれた国に住むのは退屈である」ことは本文中で述べられていないので不正解。